

# 5年生：里山体験を行いました

11月12日（金）、子どもたちは地元の自然をよく知るために、日吉町づくり推進協議会の小栗さんと熊谷さん、コミュニティーセンターの方々、また、たくさんの日吉の林業に関わる方と一緒に、天狗塚に登りました。

天狗塚に登る途中で、日吉の森の植物について説明を受けました。コバノミツバツツジやムラサキシキブ、馬酔木（あせび）、ソヨゴなど、様々な木の種類を教えていただいたり、枝の数から木のおよその年齢を知る方法なども教えていただいたりしました。当たり前かもしれませんが、それぞれの木にちゃんと名前があることに改めて気づき、その種類の豊富さに驚いていました。



その後、天狗塚から見える山々の説明などを受けながら中腹まで登り、「枝打ち体験」を行いました。初めに、町づくり推進協議会の方がチェーンソーで太い木を切り倒す様子を見学しました。太い木が倒れてくる迫力に「うおお！」「すごい迫力…」と驚いていました。そして、ひとり一本ずつノコギリを受け取り、手助け

されながらも、切り倒した木の枝を切りました。

天狗塚に登ると、木曾川と山々の雄大な自然を一望することができました。地元の方に支えられながら岩の上に立ち、その絶景に子どもたちはしばらく興奮していました。中には「何回も見たことある！」と言う子もいましたが、どの子も景色のよい光景を楽しんでいるようでした。



次に場所を変え、生えすぎた木を切り倒して森に光が差すようにする「間伐体験」を1時間程度、夢中になって行いました。もちろん、町づくり推進協議会の方々の助言や助力はあったものの、指定されたエリアのほぼ全ての木を子どもたちが自分だけの力で切り倒し、均一な長さに切りそろえました。また、切った木の名前や特徴、間伐や枝打ちの必要性なども教えていただきました。

日吉に住んでいても、そこに生えている樹木の名前や山の手入れの仕方を知る機会は少ないものです。どの子にとっても、とても貴重な体験となりました。また、学級でレベルアップをしようと取り組んできた“あいさつ”も、「お願いします。」「ありがとうございます！」など、大きな声で伝えられました。子どもたちの様々な成長が見られた、素敵な里山体験学習でした。

今日は、いろいろな人来てもらって、体験や知識がふえたのでうれしかったです。これからは、わたしたちで日吉の自然を守っていきたいと思います。

木が切れたときは、ノコギリの重さが「スッ」となくなったところがおもしろかったし、櫛（しきみ）の事や、葉に細長い葉や太い葉などがあることを知って、面白いなと思いました。